

令和元年度 第1回山田町総合教育会議 会議録

- 開催日時      開会 令和2年3月26日（木） 午後3時00分  
                    閉会 令和2年3月26日（木） 午後4時10分
  
- 開催場所      山田町役場 4階特別応接室
  
- 出席者        佐藤 信 逸      町長  
                    佐々木 茂 人      教育長  
                    長崎 千秋        教育委員  
                    小野寺 恵美      教育委員  
                    中村 敏彦        教育委員  
                    福士 久雄        教育委員

[事務局]

甲斐谷総務課長（オブザーバー）

箱山教育次長兼学校教育課長、後藤生涯学習課長、加藤学校教育課長補佐

- 傍聴者        なし
  
- 内 容        次のとおり

1 開会（加藤学校教育課課長補佐）

2 町長あいさつ

常日頃から山田町行政にご尽力いただき感謝申し上げます。昨年10月13日未明に発生した台風19号についてずっと検証してきました。何が原因であるようになったのか、しっかり検証して田の浜地区の安心した住居環境を提供するために防災対策をしっかりととっていきたい。昨日盛岡で会議がありました。地球温暖化によって、生態系の変化、何年か前から新型感染症、自然災害等が多発しています。今回の台風土砂災害の一つの原因として、台風18号の時の影響で保水力の低下になっていて地球温暖化の影響を受けております。我々としては町民の財産を預かるものとしてしっかりと取り組まなければなりません。今日の協議事項として、間もなく新年度になり学校給食が始まります。非常に楽しみにしています。そして新小学校、統合される中学校に期待がいっぱいあります。胸膨らむ春となりますよう、協議をよろしくお願いします。

3 教育長あいさつ

今町長の方からお話されたように今日の協議事項は学校給食と学校再編についてです。給食については、子供達は試食をすごく楽しんだと聞いております。学校再編については保護者等と話し合いを重ねてきました。それに伴って通学路について問題になってきております。今日は町長を交えての貴重な会議ですので、両者が施策の方向性を共有し進めていくことが山田町の教育にとってよりよいものとなっていきますので皆さんよろ

しくをお願いします。

#### 4 協議事項

[箱山次長]

教育委員会制度が改正になりまして、教育大綱についても首長が作成するものという風に法律の方が改正されました。本日教育委員さんと町長のところで協議されることによりこうした方向性がしっかりと作られていることが期待されています。本日も議題につきましては、その中で教育の条件整備などの重点に置くべき施策について皆さんで協議していただきたいという事で四つ挙げていますのでよろしくをお願いします。

(資料説明：箱山教育次長)

##### (1) 学校給食について

[町長]

コロナウイルス感染との関係はどうか。

[箱山次長]

学校行事については、一昨日県の方からそのまま特に日程を変えずに進めるとなりました。現在はその通り進むと思います。ただ県内、最悪町内で発生した場合はそれなりの対応策を取らなければなりません。給食についても同じです。途中で中断ということもあり得るということです。

[中村委員]

積極的に地場産品の使って食育とか進めてほしい。

[町長]

いずれは地場産品使って食育を進めたいと考えている。

[箱山次長]

食育を推進して、自分の町の素晴らしいものを積極的に取り入れたいということで水産商工課、農林課とも話題にはしているところであります。

[町長]

マツタケの日なんかもあればよいですね。

[箱山次長]

財政課長と色々相談してみます。

[福士委員]

私は一度だけ大浦小学校で、マツタケ給食をいただきました。しかし食数が多くなれば、そうはいかないのかな。地場産品も高価なものは無理としても、地域の産品の給食にできれば良いと思う。

[町長]

今思い出したが、大浦小学校でシイタケの給食があった。

[長崎委員]

給食を食べてみたい。

[町長]

食べたが味が薄く感じた。

[小野寺委員]

私の娘も中学校で三回いただきました。おいしかったと言っていました。もっと薄味を

イメージしていたようですが、おいしかったそうです。山田で育ったので給食を食べたことがないので、私も食べてみたいです。町民の方も食べたことがないので、何か良い機会があれば試食会をやってみてはどうか。

[教育長]

給食を実施することは食育を進めやすくなります。みんなで同じものを食べるということは、嫌いな食べ物や食が細い子も頑張って食べるという意味で子ども達の健康面にもとても良いと思います。

[町長]

アレルギー対策については万全ですか。

[箱山次長]

昨年度山田町としてのアレルギー対策指針は出来上がっていますが、エピペンを持っている子ども達が数人います。消防署とも話はしているが、主治医ではなく直接盛岡に運んでくださいという子もいます。

[福士委員]

他市町村、宮古や大槌でも直接盛岡に運ぶのですか。

[箱山次長]

アレルギー症状が重い子ども達は盛岡へ運ぶようです。アレルギーがあるのにも関わらず、先生の目を盗んで食べてしまう子がいます。食べてみたいという欲求を我慢させなければならないです。

[福士委員]

第三子以降無償にすることは大変素晴らしい。これがPRになって、子ども達が増えればよい。給食費もそんなに高くはないし、口座引き落としについては金融機関の設定があるのか分からないが複数の金融機関の選択ができれば良いと思う。未納が出た場合の対策を考えておかなければならない。

[加藤補佐]

口座引き落としについては、岩手銀行、北日本銀行、農協、漁協、信用金庫の五つの金融機関となっています。その中で山田支店に限定される金融機関もあります。ゆうちょについては手続きが町一本で取り組むことができないため今回は外させていただきました。

[箱山次長]

未納については、まだ始まっていないので見越すことができません。保護者の意識等を町全体で高めていけるような仕組みづくりをしなければ未納が出てくると思います。先程教育長の食育の話にもありましたが、町全体として取り組まなければならないと考えています。

[中村委員]

毎月の引き落としですか。

[加藤補佐]

年間10回に分けて引き落とします。5月から2月にかけて実施します。

[箱山次長]

町長が今回行った施策の第三子以降無償というのは大きく、こういう施策をセットで打ち出してねらいを持っていくことが未納を防ぐと思う。

[町長]

このことで、子どもが増えるとよい。

〔富士委員〕

(3) の給食配送に係る業務の委託及び発注についてですが、車両の購入と配送業務を切り離して発注とあるが車両はどこが買うのですか。

〔箱山次長〕

町として購入する形です。車両は町で買い取り、何年かしたら様々な用途で使用可能かと思えます。

〔町長〕

経費を削減するということです。

〔小野寺委員〕

車両は何台購入したのですか。

〔箱山次長〕

一台です。

〔小野寺委員〕

一台で回るのですか。

〔箱山次長〕

給食センターが山田中学校の近隣のため、山田中学校へは直接運べるので可能です。

〔小野寺委員〕

山田中学校を抜きにして、そのほかの学校へ配送に何分かかるのですか。

〔箱山次長〕

ルールがあって二時間以内に子ども達の口の中に入らなくてはならないことになっています。大浦小学校や荒川小学校が閉校したことにより二時間以内に配送が可能です。試行の時に時間もきちんと計っています。

〔町長〕

学校再編をしなければ運送費だけでかなりの金額になるところだった。今回再編になったことにより数千万の経費が浮くということで、その一方で第三子以降の給食費について無償化ができた。

〔町長〕

それでは、(1) 学校給食についてはよろしいでしょうか。

〔構成員〕

「はい」という声あり。

(2) 学校再編について

〔町長〕

委員の方々からご質問等あればどうぞ。私は4月6日の開校式の校歌が楽しみである。

〔長崎委員〕

今回新しい山田小学校が出来て、学校自体は少なくなる。しかしゆくゆくは豊間根小学校や船越小学校も児童が減少していくが、こういったタイミングで吸収するかというのは決まっているのか。

〔箱山次長〕

説明会の中で教育委員会としては、教育効果、子ども達が育つある程度の質であったり量であったり人間関係ということで小学校一校として提案しています。新しい学校ができる時が確認するタイミングかと思っている。

[町長]

令和5年度に早ければ新山田小学校が完成する。新山田小学校が現代教育に充分に対応できる施設になり、その時が確認するタイミングである。

[福士委員]

令和5年度完成で令和6年度スタートできるのですか。

[総務課長]

早くて令和5年度に完成である。建築に二年かかる。

[町長]

最初に用地の決定をしなければならない。金銭面等色々考えなくてはならない。

[福士委員]

候補地は決まっているのか。

[町長]

先程の話にもあったが、給食の配送費がかからないところが良い。

[中村委員]

中学校のそばが良いのではないか。

[町長]

配送費用が掛からないことなど、色々な事を考えている。

[福士委員]

山田中学校グラウンドに仮設住宅が未だにある。いつ撤去するのか。

[総務課長]

令和2年度にすべて解体される。

[福士委員]

新しい山田中学校の校長先生のコメントに、「統合により競技力の向上も期待される」とあった。最近はスポーツの山中がそうではなくなってきた。その辺も期待される。給食も始まり、統合もし、複式学級も無くなった。次は学力に期待したい。

[町長]

学力、体力、運動能力はどうですか。

[教育長]

教育委員会としては複式学級が解消され、多人数学級の中で子ども達が互いに切磋琢磨していけるよう、全面的にバックアップしていきたい。

[町長]

豊間根中学校に関しては山田中学校と一緒にあります。その中で切磋琢磨して、ハード面は整備されたので勉強面でも運動面でもしっかりしていかなければならない。

[町長]

それでは、(1)学校再編についてはよろしいでしょうか。

[構成員]

「はい」という声あり。

### (3) 通学方法について

[町長]

通学方法について先程、運動能力低下等ありましたが皆さんの方から質問やご意見はありますか。

〔町長〕

関口地区の子どもは通学になるのか。

〔加藤補佐〕

基本3キロを基準に、関口児童館より奥の子どもはスクールバス対象となります。ただ、少し手前に新一年生がおり、学校の方からも相談を受けていて周辺にも児童がおらず今後学校とも協議し配慮が必要であると思っています。今現時点では3キロが基準ですが新学期が始まった後に学校からの要請を受けて協議をしながらその子は対象になるのかなと思っています。危険なところや、一人ぼっちの子はいると思うので柔軟に対応していきたいと考えています。

〔町長〕

安全という部分では、第7分団のところが危険である。

〔福土委員〕

もし信号機をつけることが可能であれば、つけた方が安全だ。車を運転している方も怖い。

〔町長〕

ここに関しては、議会の方でも強く要望されており県警の方、公安委員会にも強くお願いしている。県警、公安委員会の方では人口減少社会において全ての経費を節約するため2増3減。なかなか予算等難しい。そういった中だが新しく通学するところでもあるので、何とか信号機をつけていただきたいと強く要望している。そうしたところ、右折レーンの専用レーンを作って標識を大きなものをして一年間とりあえず対策を取りましようとなった。今後も強く要望していきたい。交通指導員の方々も人数が少なく高齢化が進んでいる。児童の安全な通学をしっかりと考えていきたい。

〔中村委員〕

対策済みだと思いますが、トンネルの柵についてはどうですか。

〔町長〕

対策済みです。

〔中村委員〕

小学校のスクールバスは小学校の玄関前まで送迎するのですか。

〔箱山次長〕

スクールバスについては葬祭センターの道路向かいまでです。後藤皮膚科駐車場の隣りのスペースに駐車することになっています。そして保護者は山田小学校前までの送迎に関して不可にしたい。6校のPTA会長の話し合いの中では、オールの駐車場か山田駅のロータリーで降ろす事です承を得た。今保護者同士で話し合いをするようお願いしてあり、結論がそろそろ出ると思われる。

〔町長〕

前にも議論になったが、小学校で大規模行事があった場合駐車場はどうするのか。

〔箱山次長〕

基本的に運動会の駐車場については、教育委員会、学校は用意しません。自分たちで探すように投げかけ、PTA会長達は、納得していました。ただ大浦方面から保護者の方から苦しいと意見があがれば空きスペースからピストン輸送、山田中学校のグラウンドからもピストン輸送等も検討し応援したい。

〔中村委員〕

豊間根小学校もですか。

〔箱山次長〕

豊間根小学校は豊間根中学校に停めてもらうよう考えている。

〔小野寺委員〕

バスの台数は増えているが、レンタルとかするのですか。

〔加藤補佐〕

バスの台数については、今現状持っているバスの台数では足りていません。そこで新たに2台リースして、将来的には古い車両もあるのでリースを買い取り更新するという形で進めています。

〔箱山次長〕

実は前須賀の防潮堤が完成したら、船越小学校のバスを全部引き上げて使おうと思っていました。しかし防潮堤の工事が長引く部分と鯨館近くの防潮堤に電気をつけられなかった。あの付近の子ども達の通学距離は2キロ前後で、本当は歩かせたい。町民の方からもいつまでスクールバスを出すのかというご意見もいただいている。しかし防潮堤が出来上がるまではスクールバスを出すと約束しているので、仕方がない。少し計算が狂った部分です。

〔小野寺委員〕

いつくらいまでに出来上がるのですか。

〔総務課長〕

令和2年度までかかる。

〔町長〕

それでは、(3) 通学方法についてはよろしいでしょうか。

〔構成員〕

「はい」という声あり。

#### (4) その他

〔箱山次長〕

今東京学芸大学と協定を結んで、生徒達の受け入れ、教授達の教育行政に推進に対しての助言、アドバイスということで進んでいる。先週の金曜日に、再度学長が変わったということもあり確認をしました。出来れば5年後に山田町に東京学芸大学の分室を持ってきたい。学芸大学の子ども達が山田で学んでその後は単位になる。それが5年後にできたら良いと話をしている。学芸大学の子ども達が山田で教育実習をしたり、様々な自然環境の中でオランダ島を活用した取り組みをしたり、たまには一緒にワークショップをしたり。山田町には大学生がいないので、山田中学校や山田高校の子ども達が大学生と直接触れる、そういったところをこの5年の間で整備できたらと思っている。

〔町長〕

都会の子ども達を招聘することは何か考えているのか。

〔箱山次長〕

海洋教室が本格的にスタートして、100人規模でも受け入れられるとなった時に貧困、経験不足、不登校、様々な問題を抱えた子ども達をひと夏の一生心に残る楽しい思い出を山田町で実現出来ないか。学芸大学の方では川崎市、私の繋がり足立区のところでは実現に向けた動きを少しずつ動き始めたところです。そうした子ども達の交流を実現できれば

山田の子ども達にとっても間違いなくプラスになるのかなと思っている。できるところから実現しましょうと動き始めたところです。

〔次長〕

あくまでも前提の前提だが、船越小学校はまだ校舎が新しくもったいない。再活用や、関係人口を増やすことを作っていききたい。

〔福士委員〕

海洋体験は、不登校の子にとって大変良いことだと思うが、現に山田に不登校の子はいるのかな。不登校やいじめにあっている子はいるか。

〔箱山次長〕

震災後不登校の子は5年目がピークでした。阪神淡路大震災の時も同じでした。不登校の出現率は県内の中でも山田町はかなりの数でした。学校も落ち着きがなかった。そこから四年かけて落ち着いてきましたが、今年になってまた不登校が増えてきている。特に気になるのは小学校。今まで中学校が問題できていたが、小学校の不登校の出現率はもしかしたら県内で一番高いかもしれません。小学校の子どもを取り巻く今の山田町の環境がどうなのかももう一步踏み込んでみないといけない。来年度の重点課題である。

〔教育長〕

次長が先程話されたように、小学校は今年度から不登校出現率が高くなっています。今までは学校でその子どもをどうにかしようとしてきたが、そうではなく地域ぐるみ、保護者ぐるみでみんなでやっていかなければならない。今回給食センターができたので、給食を不登校の子ども達にも給食センターで食べさせたい。今年度の終わりの三学期を見ていると少しでも頑張ろうという気持ちがみられるので、そこと山田小学校になり新しくなるので気分を変えさせて今までとは違う新しい小学校ということでアプローチしていきたい。

〔町長〕

例えば学校休んで給食だけ食べに来たら給食費についてはどうなるのか。

〔箱山次長〕

今のところルールとしては4日休んで5日目に入った子からに関しては取らないとしていますが、給食センターに来て給食だけ食べれば給食費は取りたい。逆に言えば給食センターに来て給食という授業を受けたということで出席カウントをしてあげたい。給食センターを手掛かりにその子達の支援を考えたい。

〔福士委員〕

給食を楽しみに学校へくる子が葛巻にいた。再編により統合する子ども同士の絡みを全体的に見てほしい。

〔小野寺委員〕

先日不登校の中学校の子のお母さんと話した。豊間根中学校と一緒に、新しい友達を作るチャンスだという話をした。

〔町長〕

複式学級解消ということもあるが、クラス替えができることによって新しい人間関係を作ることができる。そういったことが不登校減少につながればよい。

〔町長〕

その他ございませんか。

〔構成員〕

「ありません」という声あり。

[町長]

よろしいでしょうか。

[構成員]

「はい」という声あり。

5 閉会（加藤学校教育課課長補佐）